



銅山小学校 だより

～なかよく 勉強 やる気 まっしぐら～



学校HP

5月号 令和6年5月20日

文責:校長

《 全校「なかよし遠足」に出かけました 》

今年も、ゴールデンウィークの合間、5月2日に「なかよし遠足」に出かけました。片道4km、往復8kmの徒歩遠足です。明石緑が丘公園を目指して、がんばりました。

遠足のねらいは、「地域の自然にふれることを通して、ふるさとへの愛着を高めること」と、「なかよし班での活動を通して、お互いを理解し思いやりの気持ちを高めること」です。行き先の明石公園は、道中も自然がたくさんあり、また班で協力しながら歩いたり活動したりできる、ねらいを達成するのにもってこいの目的地です。

ふだんはあまり気にしない、木や草や花や虫に目を向け手で触れながらの道中、辛いはずの坂道もいろいろな発見があり、楽しむことができました。入学したばかりの1年生も、班の上級生に励まされ、助けられながら、歩きました。行き帰り往復8kmの歩きは、上り下りもあるのでとても大変だったと思いますが、班の友達同士で声を掛け合い、助け合いながら「チームワーク」で全員が最後まで歩くことができました。

芝桜や藤の花がきれいに咲いた公園では、「空き缶積み」「ジェスチャークイズ」「尻文字クイズ」「ソフトバレーボール」などの班対抗ゲームをしたり、6年生が主催して「全校鬼ごっこ」をしたりして、たくさん体を動かして楽しい時間を過ごしました。

また、遠足でのお楽しみは、「弁当」と「おやつ」です。班で集まってシートを広げ、晴天のもとで食べるお弁当は最高でした。食べているときの子ども達は、みんな幸せそうでした。

活動の振り返りをした後、使った場所の後始末やそうじもしっかりとしました。社会性やマナーなどの「ふるまい」を身に付けるのも、校外学習の大切な目的です。学年ごとに手分けをして、来たときよりも公園をきれいにしました。

縦割り班で、異学年一緒に遠足や校外学習に出かけることができるのは、小規模校の特権です。リーダーとして初めて大きな行事にのぞんだ6年生は、下級生に気を配り、声をかけたり手を差し伸べたりしていました。その姿はとても頼もしく、これからの班活動が楽しみになりました。



《 稚鮎の放流を行いました 》

4月24日に、斐伊川漁協鍋山支部の皆さんにお世話になり、稚鮎の放流体験をさせていただきました。

はじめに、体育館で川の生き物や鮎の生態などについて教えていただいたり、漁で使う投網の使い方を実際に披露していただいたりしました。

鮎の放流は、鍋山交流センター裏から三刀屋川岸に下りて行いました。直前まで雨が降っていたので、放流は中止だと思っていたのですが、時間になると雨も上がり、予定通り行うことができました。

バケツに分けられた小さな鮎を、子ども達はなかよし班ごとに協力して川辺まで運び、そっと水の中に泳がせました。元気に嬉しそうに泳いでいく子どもの鮎を、なべっ子も優しい表情で見送っていました。

夏には大きくなって、鍋山の川にたくさんの鮎が戻ってきてくれることを願っています。

漁協の皆様（〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん）、今年もお世話になりありがとうございました。



《 お話タイム、お世話になります 》

5月9日に、「わくわくお話タイム」（絵本の読み聞かせ）でお世話になるボランティアの方との顔合わせ会を行いました。

今年度も年16回の予定で、子ども達に読み聞かせを行っていただきます。メディア機器の多用化が進んでいる中、読書の楽しさや物語の世界に浸る気持ちよさを子ども達に感じてもらうため、とても効果のある時間だと考えています。

この日は、全校のみんなに体育館で「大型絵本」の読み聞かせをしていただき、みんなで創造力を膨らませました。

今年度は7名の方にお世話になります。一年間よろしくお祈りします。

【読み聞かせボランティア】

〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん

